

令和元年度 第2回明野地域委員会会議録

- 1 会議名 令和元年度 第2回明野地域委員会
- 2 開催日時 令和元年10月28日(月曜日)
午後4時00分開会～午後5時00分閉会
- 3 開催場所 明野総合支所 2階 大会議室
- 4 出席委員 船窪敏文・沓川友明・三井一男・清水真理子・雨宮智博・仲澤幸雄・嶋津英樹・深澤喜嗣・浅川一恵・小泉優子
事務局 明野総合支所長 清水能行
地域市民課市民担当 福田和久
- 5 議題 (1) 明野地域委員会研修について
(2) 北杜市補助金適正化ガイドラインについて
(3) その他
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人数 0人

8 審議内容

(議 長) 会議録署名委員に 船窪敏文委員、清水真理子委員 2名を指名します。

(1) 令和元年度明野地域委員会研修について

(議 長) 令和元年度明野地域委員会研修について議題とします。事務局から説明を求めます。

(事務局) 本年度研修について説明。

(議 長) 事務局より説明がありました。ご意見ありますか。

(事務局) 事務局のほうで、11月末から12月半ばで設定してお知らせします。午前研修、午後会議で計画します。

(議 長) それではお願いします。

(2) 北杜市補助金適正化ガイドラインについて

(議 長) 次に北杜市補助金適正化ガイドラインについて議題とします。事務局から説明を求めます。

(事務局) 資料に基づき説明。

(議 長) 事務局より説明がありました。これからは地域委員会に補助金交付要綱がある。それに沿って進めていくということかなと思います。他ご意見ありますか。

(委 員) 評価シートは誰が作る。

(事務局) 担当職員、上司、企画課、財政課が関わる。地域委員会、実行委員会の意見も聞きながら。

(委 員) 毎年引き下げられている。飲食や慣例で出すのは良くないとおもっている。その地域にとって必要かそれぞれの地域の発展が重要。住民や団体に説明していく。

明野地域委員会はそれぞれ各団体へのヒアリングもして、適正な配分をしていきたい。

(事務局) 各団体と一緒に考えていくということですね。

(委 員) 補助の内容についてガイドラインに沿わない場合等変更できるのか。

(委 員) この5年一律減額されている。それぞれ努力している。これ以上の減額にならないようにしたい。削減が目的だと思うが、減ありきとならないように。

(事務局) 減も増もある。市が一方的にこうということではない。

(委 員) 地域委員会の予算が下げて来ているのでそう考えてしまう。

(事務局) いままで毎年減っているのだから、そう考えられても仕方ないところもある。

(委 員) 本当は予算的には厳しくない。厳しいを全面に出すのはやめて欲しい。

(議 長) 予算のときに市へ説明する。補助金をつける段階で審査していく。ヒアリングも必要になる。

(委 員) 各団体どういうことをやっているか内容を知っておく必要がある。

(事務局) 納涼祭り、ダイコンまつりが大きい。他は各種団体等30ある。今後内容を委員会の中で説明する。

(委 員) 何をやったかくらいは知っておきたい。

(事務局) 内容詳細版を次の委員会で出します。

(委 員) 明野地域委員会の予算が減らされないよう適正に審査しましょう。

(事務局) 11月末に進捗状況説明、1月に予算説明。

(委 員) 新規事業は資料だと認められないというふうにも取れるが。

(事務局) だめということはない。1回やって3年間の結果でということになる。適正に運用されているか評価をしていく。

(議 長) それでは他にありますか。なければこれでこの議題は終了します。

(委 員) 意義なし

(3) その他

(議 長) その他ですが、何かありますか。事務局で何かありますか。

(事務局) 来年度予算について説明。

(委 員) なぜ地域委員会予算減るか。

(委 員) なぜ減ありきか。意味が分からない。

(事務局) まだ未確定ですが、次の機会にはお知らせ出来ると思います。

(議 長) 他に何かありますか。それではこれで議事を終了します。

以上会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和元年 月 日

明野地域委員長 _____

会議録署名委員 _____

会議録署名委員 _____